

Title	[主な営繕工事]花山天文台
Author(s)	
Citation	京都大学大学院理学研究科附属天文台年次報告 (2015), 2014年(平成26年): 31-31
Issue Date	2015-12
URL	http://hdl.handle.net/2433/218143
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

7 主な営繕工事

7.1 飛騨天文台

専用道路整備工事

例年実施している専用道路の落石崩土除去や側溝整備、砕石敷き均し工事を実施した。
(施工業者: 宝興建設 (株))

研究棟非常用自家発電機改修工事 (2014 年 11 月)

研究棟非常用自家発電機は、飛騨天文台開所の昭和 43 年に設置され、以来 47 年間に渡り使用されており、近年老朽化による不調が多発していた。学内改修費によって発電機本体、電源切替盤の更新がなされた。また、本工事に付帯する改修工事として、65cm 棟電気室低圧盤の全面更新も併せて実施された。

改修後の発電機定格、規格などは以下のとおりである。

製造会社: ヤンマーエネルギーシステム (株) 製 AP-65C-6R 60.9kW

定格: 220V 60Hz 55KVA

(施工業者: 杉浦電気工事株式会社)

(木村)

7.2 花山天文台

新館暖房設備改修工事及び玄関前土間コンクリート施工 (2015 年 3 月)

新館暖房設備は昭和 54 年度の新設の際に設置されたまま、燃料は A 重油、貯蔵は地下タンクとなっていた。A 重油は環境負荷が大きく、また、旧式の地下タンクは全国各地で危険物漏洩事故を招いているため、地下タンク撤去及び、ボイラーを LP ガス燃料のものに取り替える工事が施工された。

本工事の追加工事として、食堂ファンコイルユニット交換、浴室給湯器取替、地下貯蔵タンク撤去箇所を含む新館玄関前をコンクリート土間の施工を実施した。

従来の玄関前は砂利敷きのため、水たまりができやすく通行に不便であったが、コンクリート土間をスロープにしたことで、車椅子や台車でも玄関に入ることができ、2 台程度の駐車も可能となった。

(施工業者: 株式会社影近メンテ・株式会社井上建設)

(杉浦)